

セット時：GRAZF+GRAZM

RoHS

GRAZF

GRAZM

蟻溝部詳細

型式	Type	No.	R1	R2	R3	R4
GRAZF	8	1.0	0.2	0.25	0.1	
	12	1.5	0.2	0.25	0.1	

型式	Type	No.	r1	r2	r3	r4
GRAZM	8	1.0	0.25	0.2	0.1	
	12	1.5	0.25	0.2	0.1	

材質 SKD11 (HRC58~60)

W	S1	S2	T1	T2	t1	t2	A	M×ℓ	型式		L	¥基準単価
									Type	No.		
8	3	5	10	5	1.5	1.5	14	4	GRAZF	8	25	1,810
12	4	7	12	7.5	2	2	18	6		12	30	2,650
8	3	5	8	4	1.5	1.5	14	4×5	GRAZM	8	25	1,810
12	4	7	10	6	2	2	18	6×7		12	30	2,650

① T2はW有効範囲。



Order
注文例

型 式 — L
GRAZM8 — 25



Delivery
出荷日



在庫品

翌日出荷 P.47

①ご希望によりPM 6:00迄、当日出荷受付致します。



Price
価格

■数量スライド価格 (①1円未満切り捨て) P.47

数量区分	標準対応	個別対応 大口
数 量	1~9	10~20
値引率	基準単価	5% お見積り

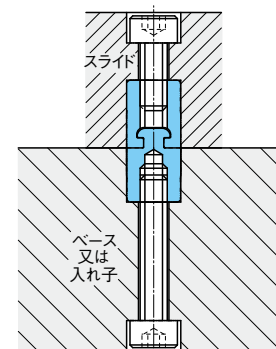
①表示数量超えはWOSにてご確認ください。

■特長

- ・スライドコア横にガイドレールを設置しないため、スライド機構のコンパクト化・干渉対策が可能となります。
- ・スライドコアの内側に設置するため、ガイドレール構造と比較して熱膨張の影響が小さくなります。
- ・横幅の広いスライドコアのカジリ防止に役立ちます。
- ・複数本繋ぐことで長いストローク量が可能となります。

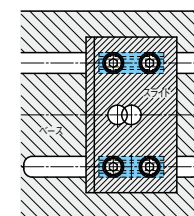
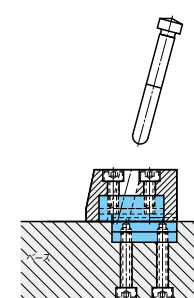
■取付け方法

- ・ベース側、スライドコア側それぞれに取付ボルト用の座ぐり穴とレール本体設置用の溝を加工し、ボルトにて固定します。
- ・溝寸法は、右図を参考にしてください。
- ・スライドコアの動きが渋い場合は、溝幅とレール幅Wのクリアランス、溝間ピッチ(平行度)を確認し調整してください。

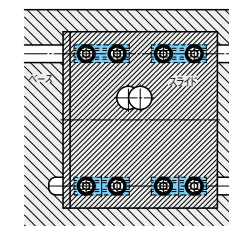
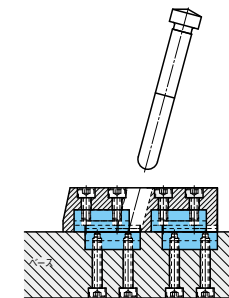


Example
使用例

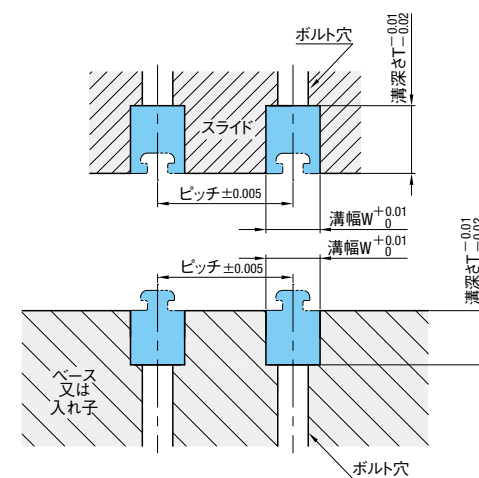
■レール1 (個/列) 使い



■レール複数 (個/列) 使い



■取付け溝加工例



■小型のスライドコアには、センターレールとしてもご利用できます。

■使用上の注意

- ・焼きつき防止のため、グリス潤滑してください。
- ・ストロークさせた時の蟻溝部が勘合する際に衝撃が気になる場合は、蟻溝端面の面取りを大きく取ってください。

■潤滑剤(スライドコア専用かじり止めグリス) P.1354

HGSSC

HGSSC-H (高温用)

